

選考結果総括表

府省庁名 文部科学省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)国立青少年 教育振興機構	理事長	鈴木 みゆき	65	H29.4.1	和洋女子大学人文 学群こども発達学類 教授 (独)国立青少年教 育振興機構理事(非 常勤)	古川 和	64	(株)EHRエグゼクティブ コンサルタント	応募総数 14 名 ↓ 書類選考 ↓(3 名) 面接 ↓(3 名) 面接した他の候補者の 情報と併せ、検討の上、 任命権者が選任
(独)国立文化財 機構	理事長	松村 恵司	70	H29.4.1	(独)国立文化財機 構理事・奈良文化財 研究所長 文化庁文化財部文 化財鑑査官[OB]	島谷 弘幸	67	(独)国立文化財機構理 事・九州国立博物館長	応募総数 14 名 ↓ 書類選考 ↓(2 名) 面接 ↓(2 名) 面接した他の候補者の 情報と併せ、検討の上、 任命権者が選任
(国)日本原子力 研究開発機構	副理事長	伊藤 洋一	62	H31.4.1	文部科学省文部科 学審議官[OB]	伊藤 洋一	62	(国)日本原子力研究開 発機構副理事長 [OB]	応募総数 8 名 ↓ 書類選考 ↓(4 名) 選考委員会面接 ↓(4 名) 選考委員会の情報を踏 まえ、任命権者が選任 ↓ 所管大臣に協議

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

独立行政法人国立青少年教育振興機構役員名簿新旧対照表

役 職	現 任 者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
	氏 名	年齢	当初就任 年月日	任期	任期満了 年月日	前 歴	氏 名	年齢	前 歴		
公募 理事長	鈴木 みゆき	65	H29.4.1 (H28.4.1)	※1	R3.3.31	和洋女子大学人文学群こども発達学類教授 (独)国立青少年教育振興機構理事(非常勤)【公募】	古川 和	64	(株)EHRエグゼクティブコンサルタント【公募】	文部科学大臣	R3.4.1
理事	伊野 亘	61	R2.4.1	2	R4.3.31	上越市立豊原小学校長				理事長	
理事	松永 賢誕	51	R2.7.28	2	R3.3.31	文部科学省大臣官房付(命)高等教育局主任大学改革官【役員出向】				理事長	
理事	小松 悌厚	59	H31.4.1	2	R4.3.31	国立教育政策研究所教育課程研究センター長【役員出向】				理事長	
理事 (非常勤)	倉持 伸江	44	R2.4.1	2	R4.3.31	国立大学法人東京学芸大学教育学部准教授・学長補佐				理事長	
理事 (非常勤)	(欠 員)									理事長	
監事 (非常勤)	鈴木 眞理	70	H23.7.1	※2	R3.8 (見込み)	青山学院大学教育人間科学部長				文部科学大臣	
監事 (非常勤)	原口 秀夫	68	H27.4.1	※2	R3.8 (見込み)	(株)千葉興業銀行監査役 (公財)損保ジャパン美術財団専務理事・館長				文部科学大臣	

※1 理事長の任期は、中期目標の期間の末日まで。

※2 監事の任期は、中期目標の期間の最後の事業年度(R2年度)についての財務諸表承認日まで。

独立行政法人国立文化財機構役員名簿新旧対照表

公募

現 任 者							就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
役 職	氏 名	年齢	当初就任 年月日	任期	任期満了 年月日	前 歴	氏 名	年齢	前 歴		
理事長	松村 恵司	70	H29.4.1	※1	R3.3.31	(独)国立文化財機構理事・奈良文化財研究所長 文化庁文化財部文化財鑑査官 【公募OB】	島谷 弘幸	67	(独)国立文化財機構理事・九州国立博物館長【公募】	文部科学大臣	R3.4.1
理事	永山 裕二	57	R2.7.28	4	R3.3.31	農林水産省大臣官房審議官(併) 農林水産省消費・安全局付 文部科学省大臣官房付 【役員出向】				理事長	
理事	島谷 弘幸	67	H29.10.1	4	R3.9.30	(独)国立文化財機構九州国立博物館長【公募】				理事長	
理事 (非常勤)	林田 スマ	73	H29.4.1	4	R3.3.31	公益財団法人大野城まどかぴあ 大野城まどかぴあ館長				理事長	
監事 (非常勤)	久留島 典子	65	H27.4.1	※2	R3.8 (見込み)	国立大学法人東京大学史料編纂所長				文部科学大臣	
監事 (非常勤)	中元 文徳	72	H26.7.1	※2	R3.8 (見込み)	公認会計士				文部科学大臣	

※1 理事長の任期は、中期目標の期間の末日まで。

※2 監事の任期は、中期目標の期間の最後の事業年度(R2年度)についての財務諸表承認日まで。

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構役員名簿新旧対照表

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構役員名簿新旧対照表											人秘
現任者							任命予定者			任命権者	発令予定日
役職	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	児玉 敏雄	69	H27. 4. 1	3 ※1	R4. 3. 31	三菱重工業(株)取締役、副社長執行役員、技術統括本部長				文部科学大臣	
副理事長	伊藤 洋一	62	H31. 4. 1	2 ※2	R3. 3. 31	文部科学省文部科学審議官【公募OB】	再任			理事長	R3. 4. 1
理事	須藤 憲司	58	H31. 4. 1	2 ※2	R3. 3. 31	内閣府宇宙開発戦略推進事務局参事官 文部科学省大臣官房付【役員出向】				理事長	
理事	山本 徳洋	64	H29. 4. 1	2 ※2	R3. 3. 31	(国)日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所長				理事長	
理事	青砥 紀身	66	H27. 4. 1	2 ※2	R3. 3. 31	(独)日本原子力研究開発機構高速炉研究開発部門高速増殖原型炉もんじゅ所長				理事長	
理事	三浦 幸俊	64	H27. 4. 1	2 ※2	R3. 3. 31	(独)日本原子力研究開発機構もんじゅ安全・改革推進本部もんじゅ安全・改革室長				理事長	
理事	野田 耕一	58	H29. 4. 1	2 ※2	R3. 3. 31	経済産業省大臣官房参事官(エネルギー政策・プロジェクトチーム総括担当) (独)製品評価技術基盤機構理事【役員出向】				理事長	
理事	吉田 邦弘	63	R2. 7. 1	2 ※2	R3. 3. 31	日本原子力発電(株)常務執行役員、敦賀事業本部副事業本部長				理事長	
監事	田中 輝彦	64	R元. 9. 1	※3	R4. 8 (見込み)	公益財団法人鉄道弘済会監事(現職)				文部科学大臣	
監事 (非常勤)	天野 玲子	67	R元. 9. 1	※3	R4. 8 (見込み)	(国)防災科学技術研究所参与(非)(現職) (国)国立環境研究所監事(非)(現職) 東日本旅客鉄道(株)社外取締役(現職)				文部科学大臣	

※1 理事長の任期は、中長期目標期間の末日まで。

※2 副理事長・理事の任期は、理事長が定める期間(理事長任期の範囲内)。

※3 監事の任期は、理事長の任期の末日を含む事業年度についての財務諸表承認日まで。

(独) 国立青少年教育振興機構理事長選任理由

本法人は、我が国の青少年教育の振興及び青少年の健全育成を図ることを目指している。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、本法人を代表し、法人全体の運営業務を総理するとともに、青少年教育の振興及び健全な青少年の育成をより一層効率的かつ効果的に推進することが求められる。

本件公募に対しては、14人の応募があり、選考委員会による書類選考で3人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、理事長として適任であるとの評価を得た候補者及び絞り込む前の候補者の情報を文部科学大臣に提示し、その評価結果を参考にしつつ、最終的に文部科学大臣が古川和氏を選任したところである。

任命理由は、古川氏はこれまで国立大学の監事としての管理経験やNPO法人の役員として青少年教育、自然体験、環境分野での活動経験、民間団体との関係構築を実行してきた経験を有しており、職務内容書で必要とされる知見及び能力が十分にあり、法人の理事長として新しい青少年教育のナショナルセンターへの展開に大いに役立つことが選考委員会による書類選考及び面接を通じて、高く評価されたことによるものである。

特に同人は、長年、法人の評価委員において部会長等の要職を務め、外部から法人の業務と業務運営について理解しており、法人の現在の組織体制における問題点を分析し新たな体制づくりを提案するなど、法人の運営に対する熱意をもっており、文部科学大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

（独）国立文化財機構理事長選任理由

本法人は、博物館を設置して有形文化財を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、文化財に関する調査及び研究等を行うことにより、貴重な国民的財産である文化財の保存及び活用を図ることを目的としている。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、本法人を代表し、法人全体の運営業務を総理するとともに、国民的財産である文化財の保存と活用をより一層効率的かつ効果的に推進することが求められる。

本件公募に対しては、14人の応募があり、選考委員会による書類選考で2人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、特に適任であるとの評価を得た1人及び絞り込む前の候補者の情報を文部科学大臣に提示し、その評価結果を参考にしつつ、最終的に文部科学大臣が島谷弘幸氏を選任したところである。

任命理由は、島谷氏はこれまで文化財に関する職務経験及び学術的な業績、文化財に関する調査研究歴や管理的経験が豊富であるとともに、これらの職歴に加え、文部科学省の教科書検定委員、文化庁での鑑査会議委員、文化審議会文化財分科会会長や博物館部会部会長などを歴任し、国の教育・文化政策全体に対して高い識見を有しており、職務内容書で必要とされる能力、経験を十分に有していることが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて高く評価されたことによるものである。

特に、同人はこれまでの博物館勤務で、専門である書の研究及び特別展や海外展を数多く担当したほか、九州国立博物館の館長及び法人の理事として組織の管理運営及び職員の育成等に尽力した経験や、組織を代表して地方及び海外の博物館等の様々な機関と交渉した経験などを有しており、これまでの研究実績や職歴に基づく実務経験を活かした今後の取り組みへの意欲も伺え、文部科学大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

(国) 日本原子力研究開発機構副理事長選任理由

本法人の使命は、我が国唯一の原子力に関する総合的研究開発機関として原子力の研究、開発及び利用の促進に寄与することにある。

そうした組織にあって、副理事長ポストには、そのミッションとして、理事長を補佐し、機構業務を掌理するとともに、敦賀事業本部に関する業務を統括し、中長期目標を達成するための計画を確実に実施できる経営能力、実行力及びリーダーシップを有することが求められる。

本件公募に対しては、8人の応募があり、選考委員会による書類選考で4人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、最も高い評価を得た者と他の候補者に対する評価を任命権者である理事長に提示し、これに基づき、文部科学大臣との協議を経た上で、理事長が伊藤洋一氏を選任したところである。

選任理由は、伊藤洋一氏がこれまで独立行政法人及び国において主要なポストを歴任し、組織の運営能力を実証してきた実績など、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあり、かつ、本法人が注力すべき方向性に対するビジョンと熱意を有していることなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。特に同人は、科学技術政策や原子力政策の立案・指導にあたってきたこと、また、本法人の副理事長として業務を的確に遂行してきた経験などの強みをもっており、理事長もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

選考委員会の属性について

【文部科学省】

・独立行政法人国立青少年教育振興機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・公認会計士	1名
・弁護士	1名
・大学教授	1名
・団体役員	2名
計	5名

・独立行政法人国立文化財機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・公認会計士	1名
・弁護士	1名
・大学教授	2名
・団体役員	1名
計	5名

・国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・会社役員	1名
・団体役員	1名
・大学教授	2名
・ジャーナリスト	1名
計	5名